調布市・崖線樹林地 ガイドマップ

ちょうふ環境市民会議がつくる

もりのちず

カニ山編

令和７年11月発行
企画編集 ちょうふ環境市民会議
info@chofu-kankyo-shimin.org

深大寺自然広場（カニ山）にようこそ

この絵図に描かれた森と原っぱの多くは、調布市では「深大寺自然広場」と呼ぶ場所です。しかし、いつの時代からかこのあたりで遊ぶ子供が時々見つけるサワガニから、人々は親しみをこめて「カニ山」と呼んでいます。

このカニ山には、変化に富む地形、谷に湧く泉、崖のひだにそって続く森と木々に包まれた原っぱがあり、そして、多様な生きものも見られます。また、このカニ山には煮炊きができる野外炉や洗い場、武蔵野の植物を集めた野草園等、市が提供する野外活動や学習の為の施設も備えています。

表面の絵図と裏面のカニ山で見られる主な動植物の紹介により、このカニ山の自然とのふれあいが深まることを願います。

崖線（がいせん）・谷戸（やと）・泉・雑木林

カニ山は、古い多摩川が武蔵野台地を削ってつくった、立川市辺りから国分寺市、小金井市、三鷹市、調布市、世田谷区を横切り大田区まで続く国分寺崖線とよばれる崖地の一部です。

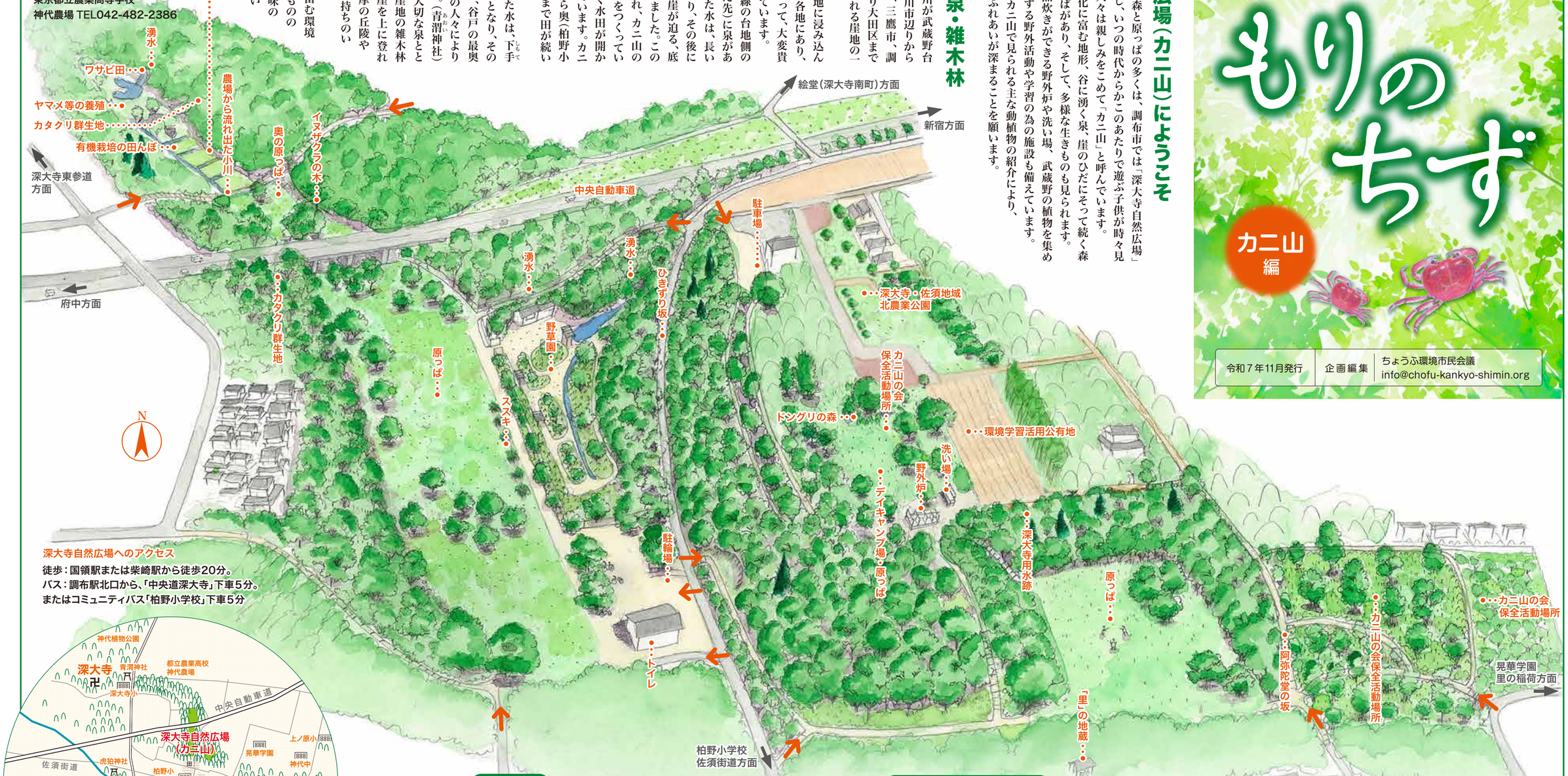
この崖線の下では台地に浸み込んだ雨水が湧き出す泉が各地にあり、その周りに樹林が連なって、大変貴重な緑の回廊をつくっています。

特にカニ山では、崖線の台地側の奥（高速道路をくぐった先）に泉があり、この泉から流れ出た水は、長い時間をかけて台地を削り、その後に土砂が堆積して左右の崖が迫る、底の平な細長い谷を作りました。この地形は「谷戸」と呼ばれ、カニ山の独特な地形と緑の景観をつくっています。谷戸は、最も早く水田が開かれた場所だと言われています。カニ山も以前は谷の入口から奥（柏野小方面から高速道路先）まで田が続いていました。

この谷戸から流れ出た水は、下手（しもて）の水田や畑を潤す用水となり、その源は大切な場所とされ、谷戸の最奥には古い時代から地域の人々により神様が祭られています。（青渭（あおい）神社）

この谷戸の周りでは大切な泉とともに、堆肥や薪になる崖地の雑木林が残されました。この崖を上に登れば、木立ちの間から多摩の丘陵や富士山も眺められる気持ちのいい雑木林があります。

このカニ山の変化に富む環境や景観は、植物や生きものの多様さをもたらし、興味の尽きない場所になっています。



都立農業高等学校神代農場

武蔵野の自然がそのまま残っている貴重な農場です。豊富な湧水を利用し、ワサビや稲の有機栽培などの農業が行われています。原則、毎週月曜日に一般公開しています。

●お問い合せ
東京都立農業高等学校
神代農場 TEL042-482-2386

深大寺自然広場へのアクセス

徒歩：国領駅または柴崎駅から徒歩20分。
バス：調布駅北口から、「中央道深大寺」下車5分。
またはコミュニティバス「柏野小学校」下車5分

「カニ山」を利用している活動団体

カニ山の会

国分寺崖線（佐須保全地区）にある「カニ山」で緑の保全活動を行っています。月1回第2土曜午前9時から有志が集まり、雑木林再生のため樹木の手入れ、下草刈り、側道の整備、生垣づくり、育苗、植樹、草花や樹木の植生調査等、残された貴重な里山や緑地を次の世代に残すため自然環境保全に取り組んでいます。新年の山開きやイベント時は併設するキャンプ場の野外炉を囲み自然の恵みを堪能しながら懇親会も行なっています。

●お問い合せ：調布市役所/緑と公園課 TEL042-481-7083

「カニ山」の施設

深大寺・佐須地域農業公園

「農のあるまちづくり」の拠点として開園しました。公園としての利用をはじめ、地域や市民の方々が気軽に農作業の様子を見られる公園として、年間を通じて様々な野菜を育てています。●開園時間：午前9時から午後4時30分まで（月・火 休園）

環境学習活用公有地

市民などを対象に、野菜の植付け・収穫体験など、里山や農に触れ合う体験型の環境学習を行っています。

●お問い合せ：調布市役所/環境政策課 TEL042-481-7086

デイキャンプ場

年末年始を除き午前9時から午後5時まで野外炉・洗い場・駐車場が使用できます。

※バーベキュー・宿泊はできません。※事前申し込みが必要です。

野草園

湧水の流れる谷戸部分にあり、ムラサキをはじめ武蔵野の植物を中心に見ることが出来ます。

●お問い合せ：調布市役所／緑と公園課 TEL042-481-7083